



- 商品名 HIP Antique Mud アンティークマッド  
ミネラルクレイ系天然塗料
- 素材 プラスターボード、カラーワークスペーパー（テクスチャー用）、  
コンクリート、モルタル、石綿スレート、各種ボード、 など
- 荷姿 専用ベース：3.8L /ステップ 2+ステップ 3：3.8L  
(各 24 色※色数は予告なく変更することがあります。)

工程	塗料名	塗装方法	塗り回数	塗装間隔 (時間以上)	塗面積と塗付量	希釈率 (%)
素地調整	被塗面に付着している汚れ、油成分、ゴミ、粉などの付着物を除去し乾燥した清浄な面にする。 穴埋めが必要な場合にはパテ・フィラーなどを用いて行う。					
下塗り	素地の材質・状態に適した、シーラー・プライマーを使用してください。(別途ご準備ください)					
ステップ 1	専用ベース	刷毛塗り ローラー塗り エアレススプレー	2	指触乾燥約 30 分 塗装間隔 2~4 時 間以上	約 5 m <sup>2</sup> /1 L 当り	0%
ステップ 2	アンティークマッド	コテ塗り	1	指触乾燥約 30 分 塗装間隔 2~4 時 間以上	約 3~8 m <sup>2</sup> /1 L 当り ※ステップ 2 の場合 約 70~80%	0%
ステップ 3	アンティークマッド	コテ塗り	1	指触乾燥約 30 分 塗装間隔 2~4 時 間以上	約 3~8 m <sup>2</sup> /1L 当り ※ステップ 3 の場合 約 30~40%	0%

(注) 上記の各数字は標準のものです。被塗膜の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少幅を生じることがあります。

撥水加工、フッ素樹脂ラミネート、汚れ防止用、ペット用などの特殊加工クロスなどは、艶があり水性塗料を弾くためペイントできないものもあります。

## 【塗装要領】

### 塗料準備

- ・使用前によく攪拌する。

### 養生

- ・マスキングテープやマスキングシートを使い、塗らたくない所を覆う。  
※塗装が終了しない場合でもその日のうちに一旦剥がす。  
(翌日になると塗料が固まり綺麗に剥がすことが出来ません)

### 下塗り (下地調整)

- ・素地の材質・状態に適したシーラー・プライマーを使用し吸い込みを止めること。(別途ご準備下さい)

### ステップ 1

- ・専用ベースをローラーで 2 回塗る。
- ・完全に乾燥するまで待つ。

※乾燥時間を 12 時間程度おいていただくのが理想的です。

### ステップ 2

- ・専用ベース乾燥後、コテにアンティークマッドを取り壁面のいろいろな箇所に配る。
- ・塗面の約 70～80%をコテで軽く抑えるように不規則な方向に薄く塗り広げる。

※コテは壁面と並行に動かして下さい。

※塗り広げたところを馴染ませるようにコテで撫で表面を滑らかにして下さい。

※乾燥時間を 2～4 時間程度おいて頂くのが理想的です。

※コテはステンレスの 210mm 程度の薄く柔らかいコテがお薦めです。

### ステップ 3

- ・ステップ 2 と同じようにコテを使って塗る
- ・ステップ 1 で塗布した色を生かすため、塗面の約 30%～40%を上から塗り重ね表情を付ける。

※コテは壁面と並行に動かして下さい。

※コテはステンレスの 210mm 程度の薄く柔らかいコテがお薦めです。

#### ■ 塗装上の注意

1. 素地の乾燥を十分行ってください。(含水率 10%以下、pH 値 9 以下)
2. 取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護メガネなどを着用してください。
3. 気温、被塗物の温度が 10℃以下、32℃以上、湿度 85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
4. 濃色の場合は必ず同色のプライマーを下塗りでご使用ください。
5. ローラーで見切りぎりぎりまで塗ってください。ダメ込面は出来るだけ少なくしてください。
6. 高温 (35℃以上) および低温 (5℃以下) での塗料の保管は避けてください。
7. 塗装後 24 時間以内に、結露や塗装場所の急激な湿度変化がありますと、白化やシミが残ったり、塗膜が正常に形成されない場合があります。
8. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
9. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。
10. 塗装時及び塗料の取扱い時は、換気を十分に行ってください。
11. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合、大型壁面塗装では補修部分が目立つことがありますので、同一塗料、同一塗装方法での補修をしてください。